

平成 27年 06月 15日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

仙南匠の家

グループの名称

仙南建築匠会

直近採択グループ番号

04-0250-0055

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

高橋 良一

代表者印

代表者所属先

仙南ベニヤ株式会社

代表者構成員番号

Ⅲ-2, V-2, VI-2

代表者所在地

宮城県亶理郡山元町大平字畑中9番地の2

代表者電話番号

0223-37-4011

(グループ事務局)

事務局事業者名

仙南ベニヤ株式会社 リメイクアーキテクト

事務局構成員番号

IX-1

事務局担当者名

高橋 浩二

印

事務局郵便番号

989-2383

事務局所在地

宮城県亶理郡亶理町逢隈田沢字早川66番地の1

事務局電話番号

0223-32-2280

事務局FAX

0223-32-2281

事務局担当者E-mail

rentaro2048@yahoo.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	仙南匠の家
2. グループの名称(必須)	仙南建築匠会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0250-0055
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	宮城県・福島県沿岸部
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	高橋 良一
7. グループ代表者の所属先(必須)	仙南ベニヤ株式会社
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	Ⅲ-2, V-2, VI-2
9. グループ代表者所在地(必須)	宮城県亶理郡山元町大平字畑中9番地の2
10. グループ代表者電話番号(必須)	0223-37-4011
11. グループ事務局事業者名(必須)	仙南ベニヤ株式会社 リメイクアーキテクト
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	IX-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	高橋 浩二
14. グループ事務局郵便番号(必須)	989-2383
15. グループ事務局所在地(必須)	宮城県亶理郡亶理町逢隈田沢字早川66番地の1
16. グループ事務局電話番号(必須)	0223-32-2280
17. グループ事務局FAX番号(必須)	0223-32-2281
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	rentaro2048@yahoo.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	1	
II. 製材・集成材製造・合板製造	3	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	2	
IV. プレカット	2	
V. 設計	3	
VI. 施工	12	
VII. 省エネルギー設備等の流通	0	
VIII. 木材を扱わない流通	2	
IX. I～VIII以外の業種	5	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	福島県産材	福島県	県産木材証明制度	1	国内
	合法木材	国内・国外	合法木材証明制度	3	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計 6 戸		地域材加算合計 1 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計 4 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計 2 戸		
	うち申請が確実 1 戸	うち申請が確実 0 戸	地域材加算(うち申請が確実) 0 戸	
	うち申請が未確定 3 戸	うち申請が未確定 2 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 1 戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計 1 戸	地域材加算合計 1 戸		
	うち申請が確実 0 戸	地域材加算(うち申請が確実) 0 戸		
	うち申請が未確定 1 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 1 戸		
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計 0 戸	地域材加算合計 0 戸		
	うち申請が確実 0 戸	地域材加算(うち申請が確実) 0 戸		
	うち申請が未確定 0 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 0 戸		
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物			
	うち申請が確実 棟	m ²		
	うち申請が未確定 0 棟	m ²		

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	配分された戸数を施工者間で公平に分配する。余裕がある場合、着工予定の早い施工者に優先する。			
--	---	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数 1 戸	交付申請戸数 1 戸	竣工済 0 戸	竣工予定 1 戸
	木造建築物			
	採択棟数 棟	採択床面積 m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 仙南匠の家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県・福島県沿岸部
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 仙南建築匠会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0250-0055	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	耐震・耐風等級2以上・温熱等級4相当・維持管理等級3相当・劣化対策等級3相当など、長期優良住宅仕様とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	気候を踏まえ、夏の熱射対策として真南の日射角度を考慮したパッシブハウスとする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	屋根仕上げは黒系で統一する。また、玄関へはスロープを設置する。 南面の軒の出を700mm以上とする。	◎
④①～③の背景	宮城・福島両県沿岸部であるこの地域は東日本大震災によって甚大な被害を受け、復興・再生に向けて取り組んでいる。気候としては海洋性気候の影響が強く、年較差、日較差が小さい為、日照時間が長い地域である。また福島県は杉を中心に桧・赤松など地域材としての資源が豊富で、管理・生産体制がしっかりしている。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	柱は福島県産材を100%使用する。 合板類は宮城県に工場を持つ、セイホク並びに西北プライウッドのものを使用する。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	外壁は窯業系サイディングに統一する。	◎
②建材・資材調達共同化や事務の合理化	定例会で提出する報告書に翌月使用する資材表を添付する。	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	建材メーカー担当者を交えた意見交換会・勉強会を実施し、スムーズな生産体制と品質維持に努める。	○
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	グループ内で地域型住宅に使用する機器を絞り込み、マニュアル化することで施工ミスを起こさない体制を整える。	◎
b. ①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	グループ内施工者を対象とした現場見学会・説明会を開催し、会内での知識・認識を深めることで住宅生産体制の整備に努めます。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルール設定	対象となる住宅に関し、構成員が施工状況の共有を行いお互いにチェックできる体制を整える。	◎
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	グループ内での標準見積書を作成し、積算手法をマニュアル化する。	◎
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	SNSなどを利用し、施工状況を公開することで一般消費者が抱える地域施工業者への不安を払拭できるよう努める。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	住宅設備機器を数社に絞り施工ミスを防ぐ。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 仙南匠の家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県・福島県沿岸部
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 仙南建築匠会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0250-0055	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長年にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	共通仕様による維持保全計画・点検マニュアルでのチェック体制を整える。
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	住宅履歴情報の蓄積・更新を義務化する。
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	住まい手による自主点検等維持管理のためのコーチングセミナーを開催する。
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	グループ内に維持管理保全委員会を設置し、定期的な訪問、相談会を実施する。
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	履歴情報は20年間事務局で保管する。
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	瑕疵が発生した場合に備え、対応マニュアルを作成し、引き渡し時には重要事項説明を義務化する。
その他	※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入	自主点検用の維持管理マニュアルに施工担当者の直通電話を記載し気軽に問い合わせできる環境整備を目指します。
エ. グループの技術力の向上		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	グループ内で未経験工務店への設計・施工の技術交流会の開催。
	②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	2ヶ月に一度の頻度で定例会終了後に実施する。
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	グループ内で未だ長期優良住宅未施工の施工業者が多くいるためまずは長期優良住宅を施工できるような体制を整える。具体的には建築主を含めた勉強会を開催し、住宅性能の違いや施工部位の違いを知ってもらう。その上で現場見学をしてもらう。また、事務局もサポート体制を充実させる。長期優良住宅を増やしていくことで仙南建築匠会を地域に浸透させていきます。
	④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	グループ内(特に施工事業者)で知識・見識を深め、どの事業者が工事をしても均一な施工レベルを保つようにします。また統一な維持保全計画・点検マニュアルにより今後の増改築時の資料整備や工事をした施工業者に何かあっても、適切に対応できる体制を整えます。
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	まずは、設計のグループで講習会に参加し、その内容を定例会で詳しく報告することで、施工事業者に関心を持ってもらい、年齢の若い方4~5名に受講してもらう。
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	定例会で2020年より義務化になることを十分に理解してもらい、必要な知識と施工ということで参加を呼びかけます。
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	メーカー担当者から勉強会並びに新商品説明会を開催する。
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	LVLやCLTなど今後の木造見学や製材行程・プレカット工場の見学ツアーの開催。
その他	※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入	グループ内で積極的な現場公開する。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 仙南匠の家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県・福島県沿岸部	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 仙南建築匠会	(結成年) 2012年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0250-0055		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①地域材ごとの使用部位(必須)	柱は福島県産材を使用する。柱などに使う杉材は安定的な流通がされているが、梁・桁などの大断面のものはスムーズな供給が困難な場合が多く、強度的な不安も拭えない。グループとして横架材はJAS認定材で強度等級の明示されているものであれば合法木材の使用を認める。	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	県産木証明制度と合法木材証明制度を使用し、1頭当たりの使用量を10㎡以上、割合80%以上使用します。	◎
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	柱は福島県産材を100%使用する。	◎
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	当グループは主に宮城県南部に位置しており、福島県と隣接していることから地産地消の考えから、福島県産を積極的に利用する。グループ地域に近い、福島県産材を利用することで輸送エネルギーの大幅な削減が期待できる。	◎
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み	原木供給、製材、流通の縦ラインと定期的な意見交換を行い、安定的な在庫量、価格を維持します。	◎
	②グループ全体における地域材の需給予測	一棟当たり10㎡、グループ全体で100㎡を目標とします。	◎
c	①-1 畳の活用	使用する。	◎
	①-2 和瓦の活用	使用しない。	○
	①-3 襖の活用	使用する。	○
	①-4 障子の活用	使用する。	○
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	特になし。	○
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	この地域は年間を通して温暖な気候の土地で、瓦屋根の美しい景色がたくさんありましたが震災で一変しました。もう一度この景色に戻せるように取り組んでいきます。	◎
	②地域の住まい方の継承につながる取組	高齢者と若者世代が住みよい住宅へのアプローチ、プライバシーを重視しつつも、住まい手の気配感じられる住宅を目指します。	◎
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	地域風土を意識して一体感ある街並みづくりで復興の一助とし、グループの特徴ある外観に努める。	◎
	④和の住まいの要素を取入れた取組	昔からこの地域に多い軒の出が大きい日射遮蔽のある屋根のつくりとします。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
その他			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
	東日本大震災の復興に資する取組	27年度から本格的に災害移転地の引き渡しがはじまりました。この地域は年間を通して温暖な気候の土地で、瓦屋根の美しい景色がたくさんありましたが震災で一変しました。現代の住宅事情にあわせ、昔からこの地にあった風景をグループ全体で作りに上げていきます。	◎
グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。